

【参考資料】

大阪市におけるH I V・エイズ対策を取り巻く現状

1 新規H I V感染者・エイズ患者報告数の推移

○大阪市

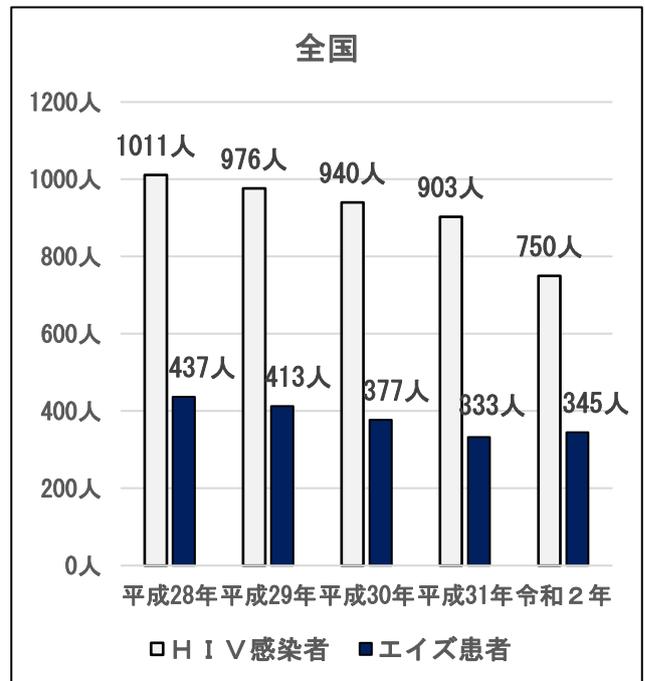
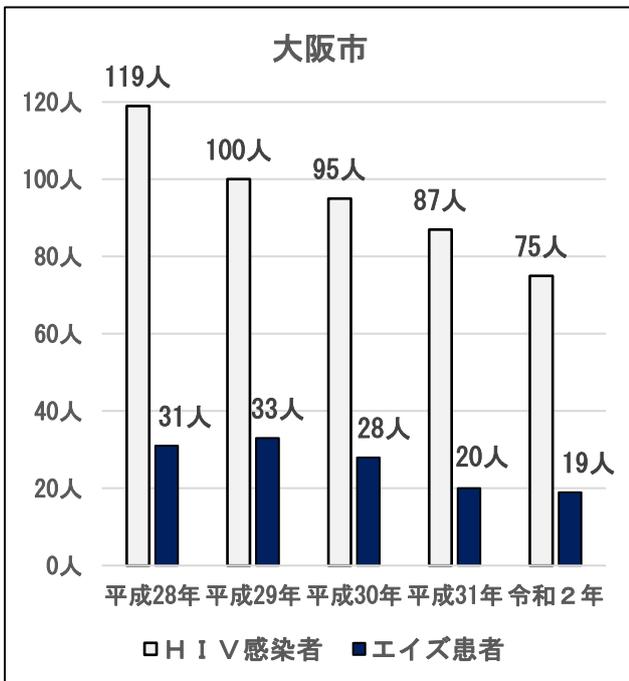
	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和 2 年
H I V感染者	119 人	100 人	95 人	87 人	75 人
エイズ患者	31 人	33 人	28 人	20 人	19 人
合計	150 人	133 人	123 人	107 人	94 人

○大阪府

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和 2 年
H I V感染者	140 人	121 人	116 人	105 人	89 人
エイズ患者	48 人	51 人	41 人	34 人	25 人
合計	188 人	172 人	157 人	139 人	114 人

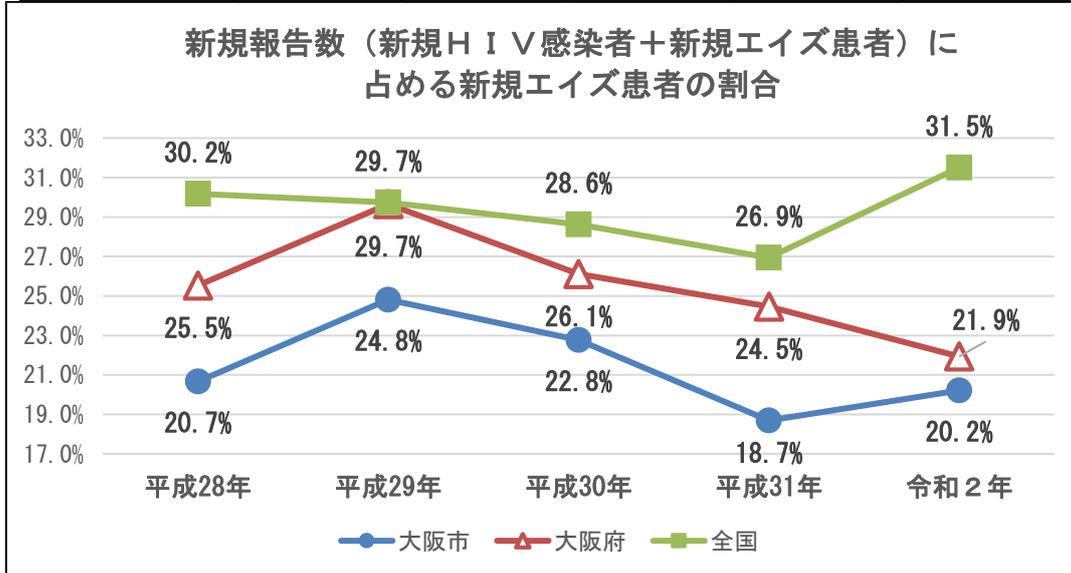
○全国

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和 2 年
H I V感染者	1011 人	976 人	940 人	903 人	750 人
エイズ患者	437 人	413 人	377 人	333 人	345 人
合計	1448 人	1389 人	1317 人	1236 人	1095 人



2 新規報告数（新規H I V感染者＋新規エイズ患者）に占める新規エイズ患者の割合

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和 2 年
大阪市	20.7%	24.8%	22.8%	18.7%	20.2%
大阪府	25.5%	29.7%	26.1%	24.5%	21.9%
全国	30.2%	29.7%	28.6%	26.9%	31.5%



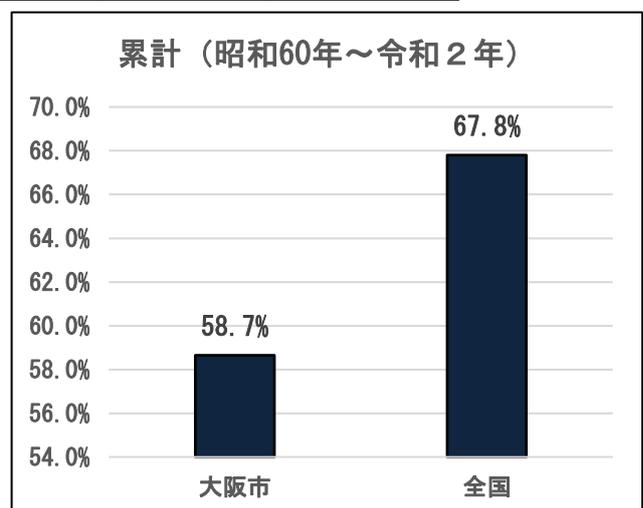
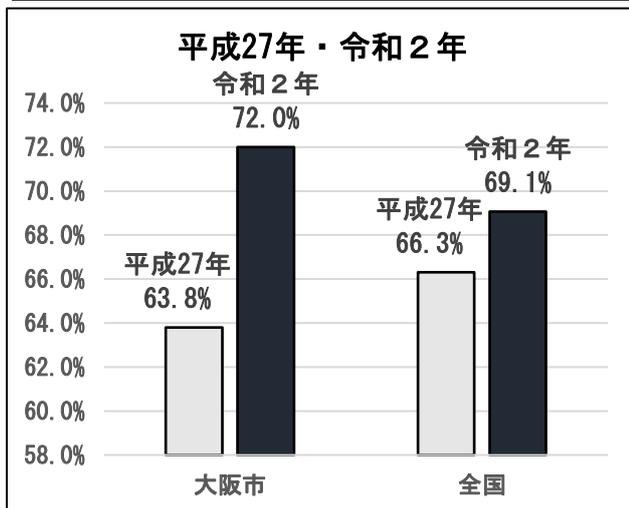
3 新規H I V感染者報告数に占める 20 歳代・30 歳代の割合

○令和 2 年（比較：平成 27 年）

	H I V感染者 報告数	20 歳代・ 30 歳代合計	内訳		20 歳代・ 30 歳代割合	(参考) 平成 27 年
			20 歳代	30 歳代		
大阪市	75 人	54 人	31 人	23 人	72.0%	63.8%
全国	750 人	518 人	266 人	252 人	69.1%	66.3%

○累計（昭和 60 年から令和 2 年まで）

	H I V感染者 報告数	20 歳代・ 30 歳代合計	内訳		20 歳代・ 30 歳代割合
			20 歳代	30 歳代	
大阪市	3028 人	1776 人	860 人	916 人	58.7%
全国	22489 人	15247 人	7482 人	7765 人	67.8%



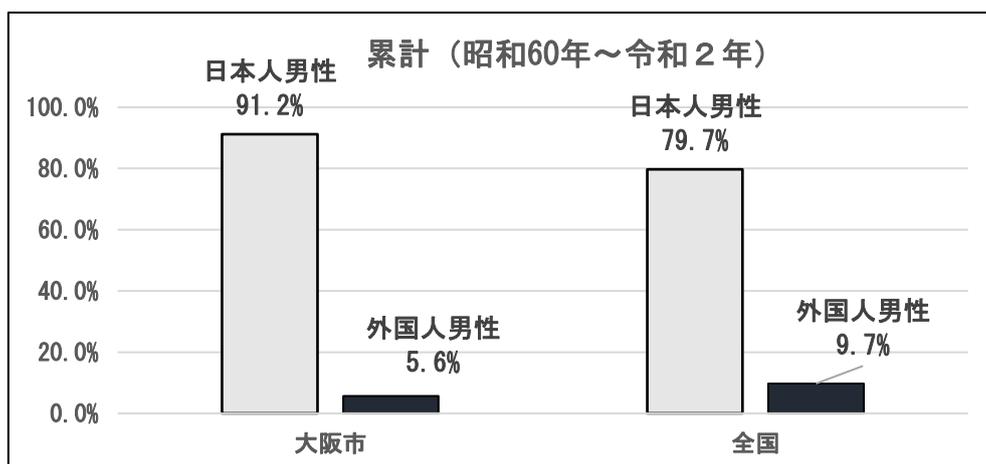
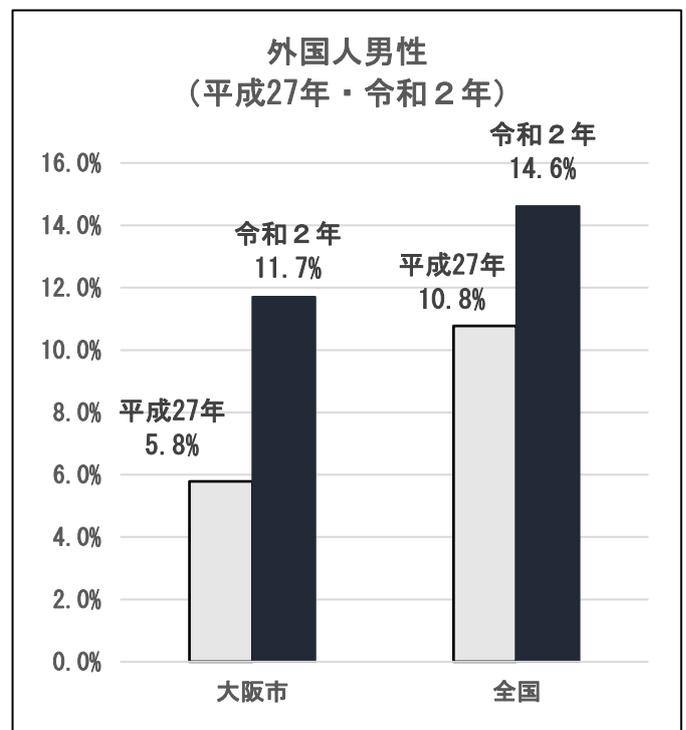
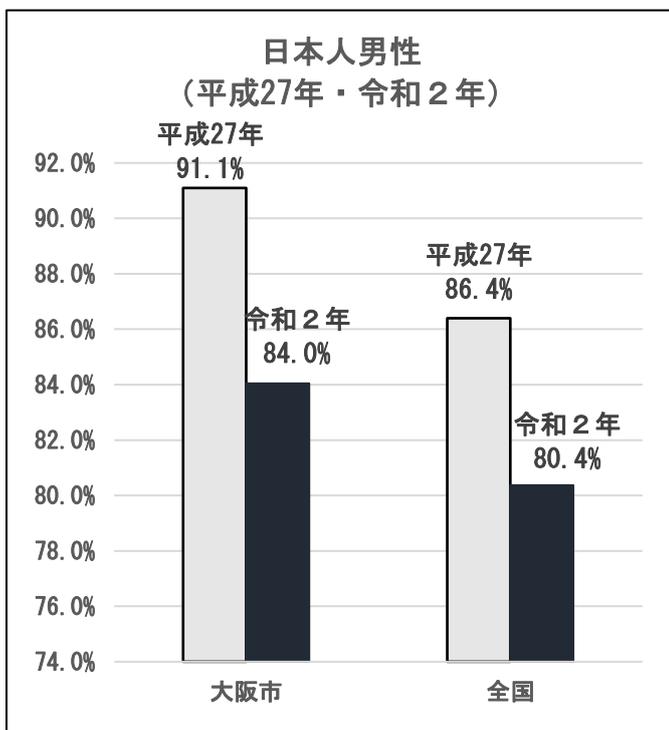
4 新規H I V感染者・新規エイズ患者報告数に占める日本人男性と外国人男性の割合

○令和2年（比較：平成27年）

	H I V感染者 報告数・エイズ 患者報告数	日本人男性			外国人男性		
		報告数	全報告数 に占める 割合	(参考) 平成27年	報告数	全報告数 に占める 割合	(参考) 平成27年
大阪市	94人	79人	84.0%	91.1%	11人	11.7%	5.8%
全国	1095人	880人	80.4%	86.4%	160人	14.6%	10.8%

○累計（昭和60年から令和2年まで）

	H I V感染者 報告数・エイズ 患者報告数	日本人男性		外国人男性	
		報告数	全報告数に占め る割合	報告数	全報告数に占め る割合
大阪市	3028人	2761人	91.2%	171人	5.6%
全国	32480人	25886人	79.7%	3163人	9.7%



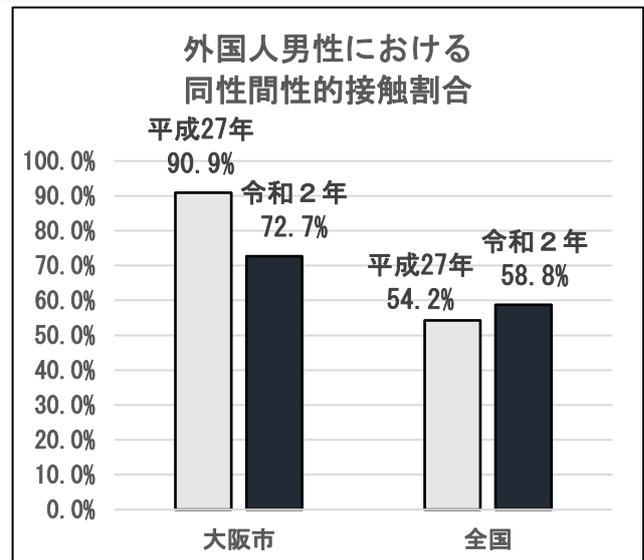
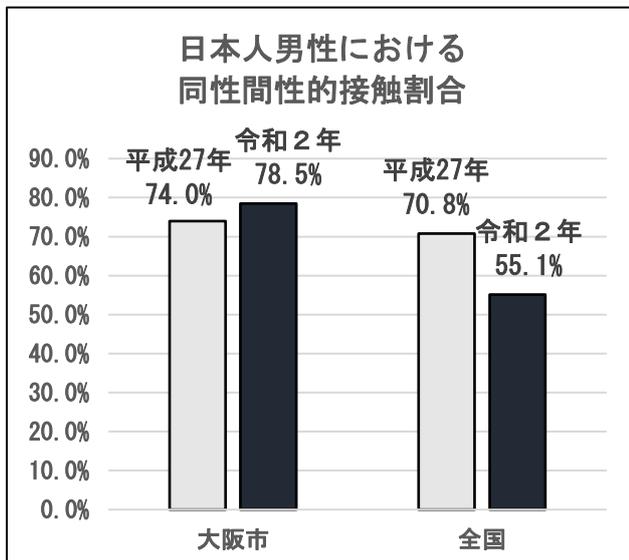
5 新規H I V感染者・新規エイズ患者報告数のうち日本人男性・外国人男性に占める同性間性的接触の割合

○令和2年

	日本人男性			外国人男性		
	H I V・エイズ患者報告数	うち同性間性的接触	同性間性的接触割合	H I V・エイズ患者報告数	うち同性間性的接触	同性間性的接触割合
大阪市	79人	62人	78.5%	11人	8人	72.7%
全国	880人	485人	55.1%	160人	94人	58.8%

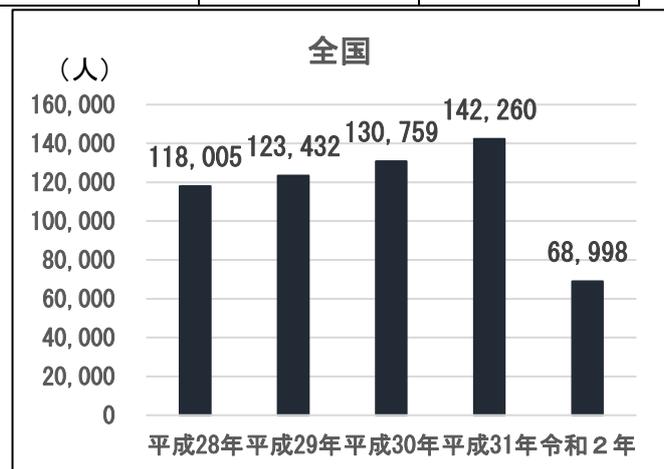
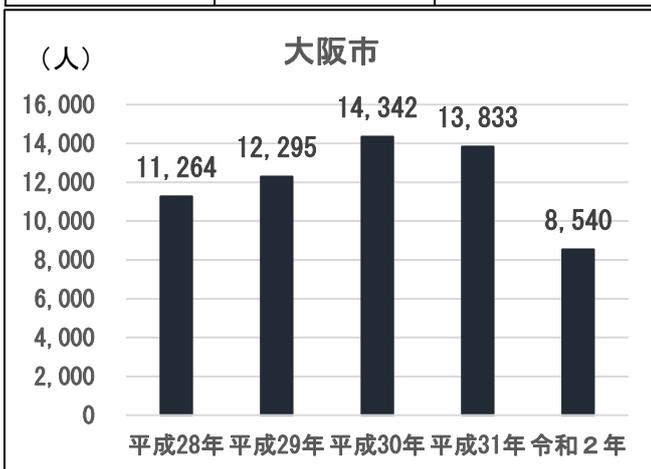
○(参考)平成27年

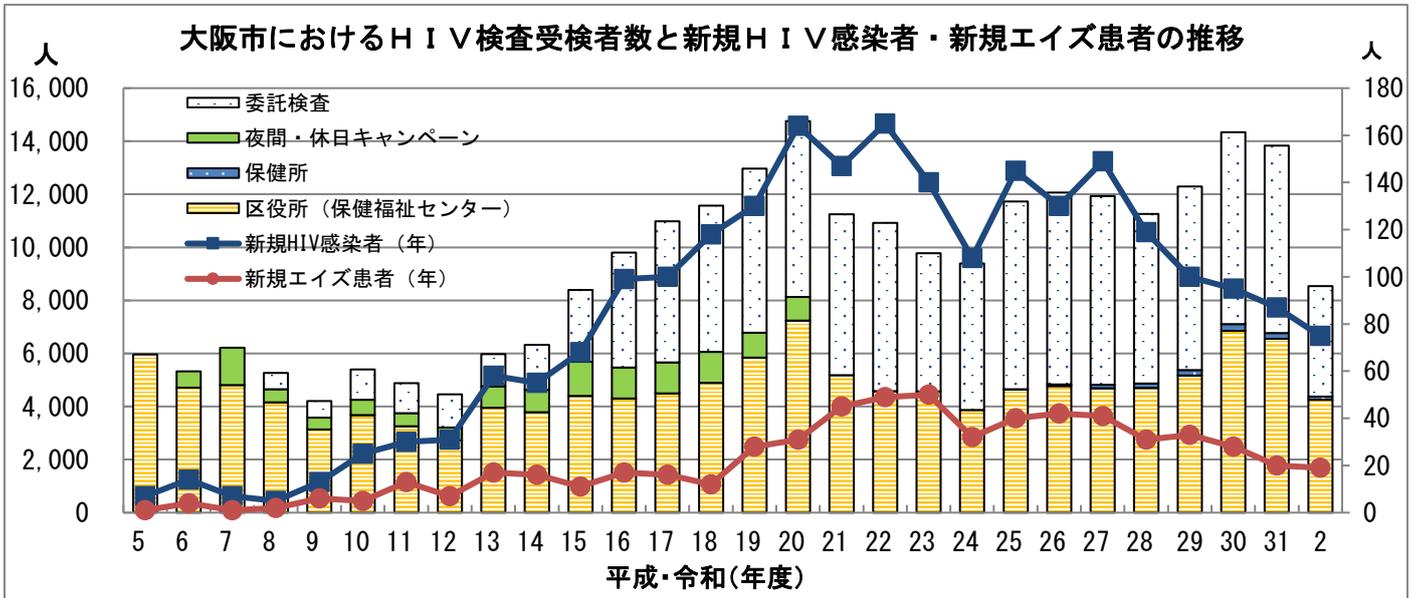
	日本人男性			外国人男性		
	H I V・エイズ患者報告数	うち同性間性的接触	同性間性的接触割合	H I V・エイズ患者報告数	うち同性間性的接触	同性間性的接触割合
大阪市	173人	128人	74.0%	11人	10人	90.9%
全国	1239人	877人	70.8%	118人	64人	54.2%



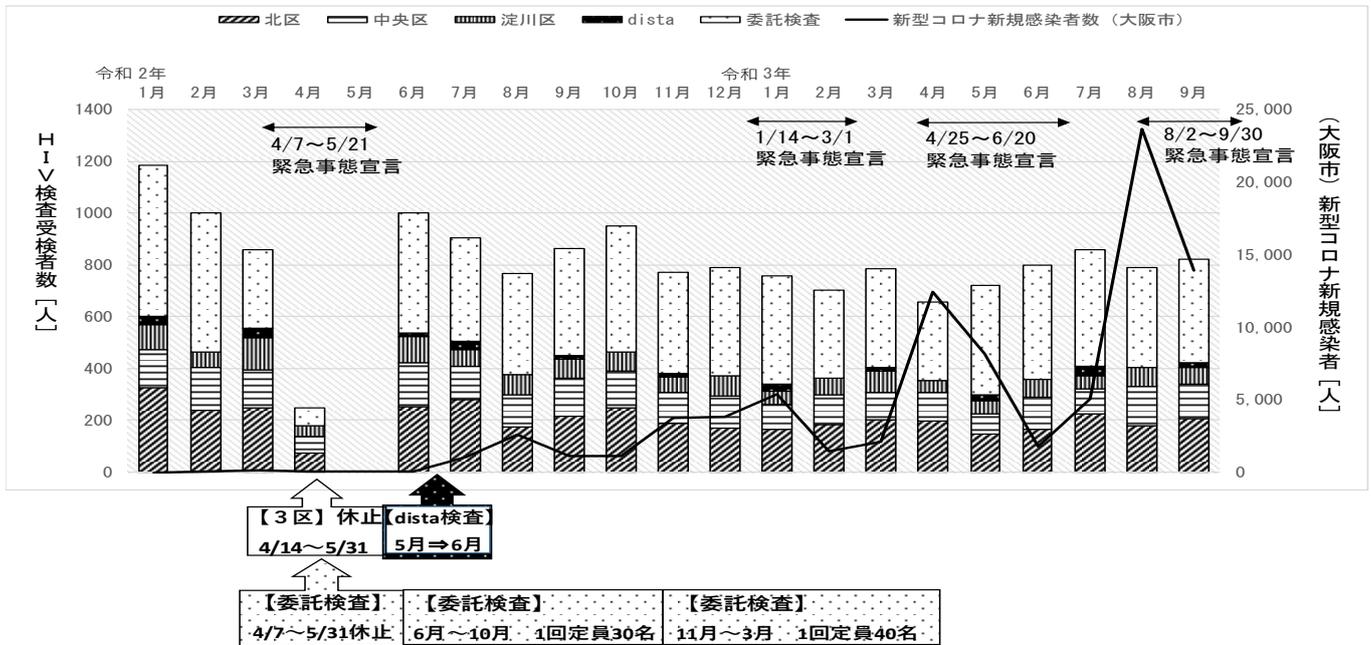
6 保健所等におけるH I V検査受検者数推移

	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年
大阪市	11,264人	12,295人	14,342人	13,833人	8,540人
全国	118,005人	123,432人	130,759人	142,260人	68,998人



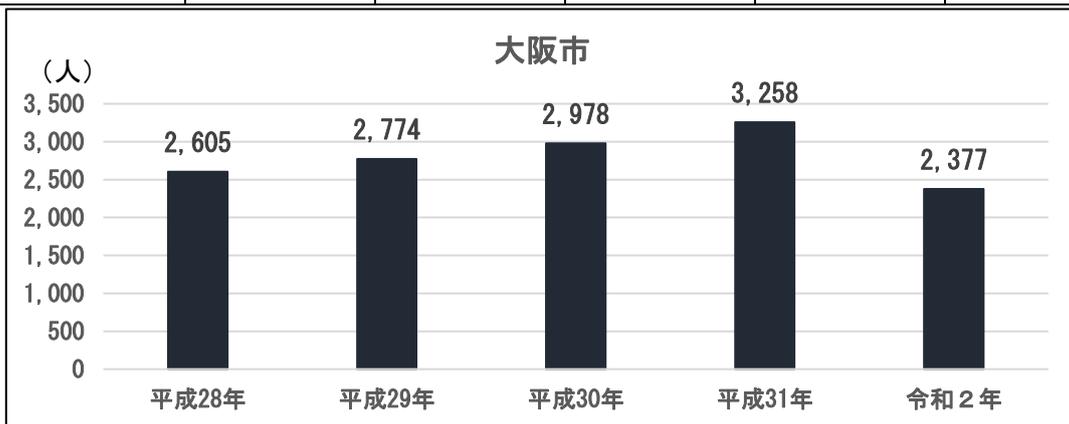


7 新型コロナウイルス感染症新規感染者数とH I V検査受検者数の推移



8 大阪市におけるMSMのH I V検査受検者数推移（推計値）

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和 2 年
大阪市	2,605 人	2,774 人	2,978 人	3,258 人	2,377 人



9-1 大阪市における新規H I V感染者・新規エイズ患者報告の状況について（累計）

（平成元年2月17日～令和2年12月31日）

(1) 年次別推移

区分	新規H I V 感染者報告数	新規エイズ 患者報告数	合計
～平成元年	0	0	0
平成2年	3	2	5
平成3年	4	1	5
平成4年	14	3	17
平成5年	7	1	8
平成6年	14	4	18
平成7年	7	1	8
平成8年	5	2	7
平成9年	13	6	19
平成10年	25	5	30
平成11年	30	13	43
平成12年	31	7	38
平成13年	58	17	75
平成14年	55	16	71
平成15年	68	11	79
平成16年	99	17	116
平成17年	100	16	116
平成18年	118	12	130
平成19年	130	28	158
平成20年	164	31	195
平成21年	147	45	192
平成22年	165	49	214
平成23年	140	50	190
平成24年	108	32	140
平成25年	145	40	185
平成26年	130	42	172
平成27年	149	41	190
平成28年	119	31	150
平成29年	100	33	133
平成30年	95	28	123
平成31年	87	20	107
令和2年	75	19	94
合計	2405	623	3028

(2) 感染経路別<累計>

区分	新規H I V 感染者報告数	新規エイズ 患者報告数	合計
異性間性的接触	285	119	404
同性間性的接触	1916	389	2305
静注薬物使用	6	1	7
母子感染	2	1	3
凝固因子製剤 (注)	0	0	0
その他	47	22	69
不明	149	91	240
合計	2405	623	3028

(3) 年齢区分<累計>

区分	新規H I V 感染者報告数	新規エイズ 患者報告数	合計
20歳未満	29	2	31
20歳代	860	76	936
30歳代	916	181	1097
40歳代	420	185	605
50歳代	110	121	231
60歳以上	70	58	128
合計	2405	623	3028

(4) 国籍・性別<累計>

区分	新規H I V 感染者報告数	新規エイズ 患者報告数	合計
日本人 男性	2183	578	2761
日本人 女性	39	7	46
その他・不明 男性	146	25	171
その他・不明 女性	37	13	50
合計	2405	623	3028

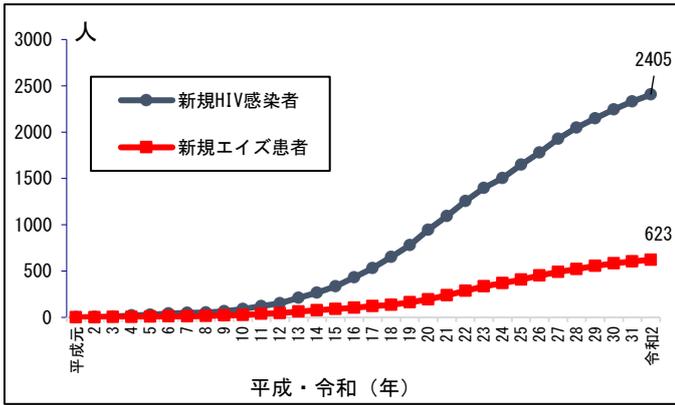
(5) 感染経路別<累計>

区分	新規H I V 感染者報告数	新規エイズ 患者報告数	合計
国内	2151	506	2657
海外	100	34	134
不明	154	83	237
合計	2405	623	3028

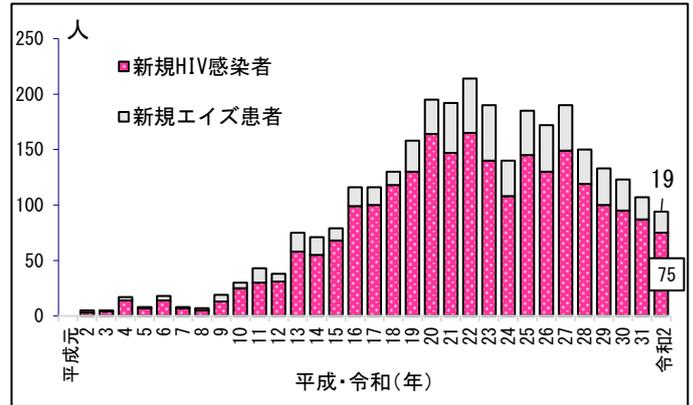
注) 後天性免疫不全症候群の予防に関する法律施行後
（平成元年2月17日以降。平成11年4月1日より
「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する
法律」に統合）血液凝固因子製剤が原因とされる方は、
法による報告から除外されています。

9-1 大阪市における新規HIV感染者・新規エイズ患者報告の状況について（累計）
 （平成元年2月17日～令和2年12月31日）

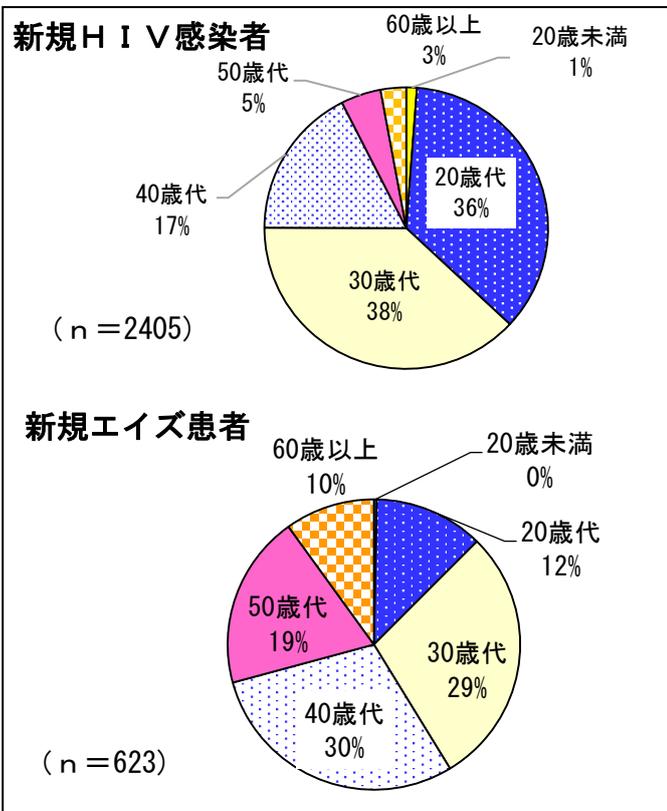
(1) 年次推移<累計>



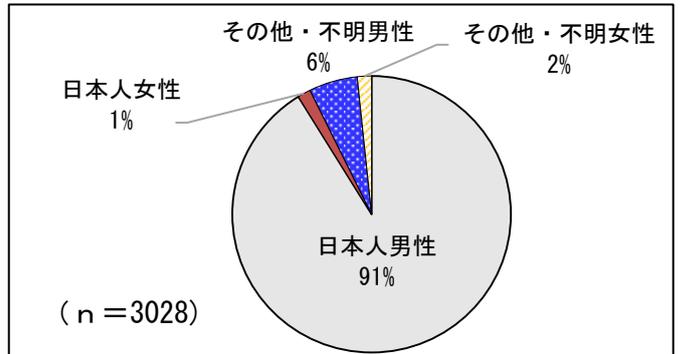
(2) 年次別届出数推移



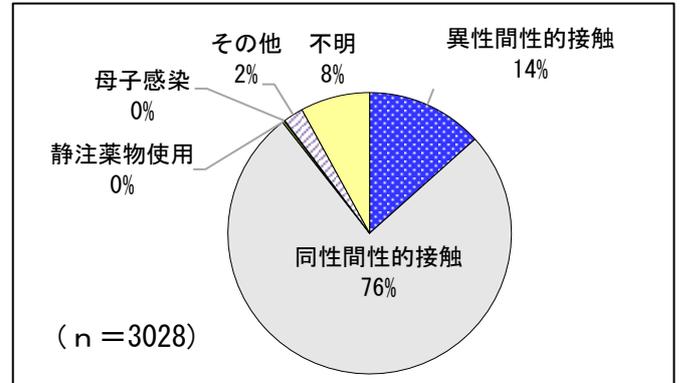
(3) 年齢区分<累計>



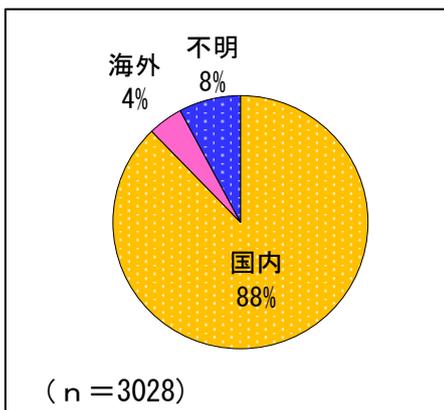
(4) 国籍・性別 (HIV・エイズ) <累計>



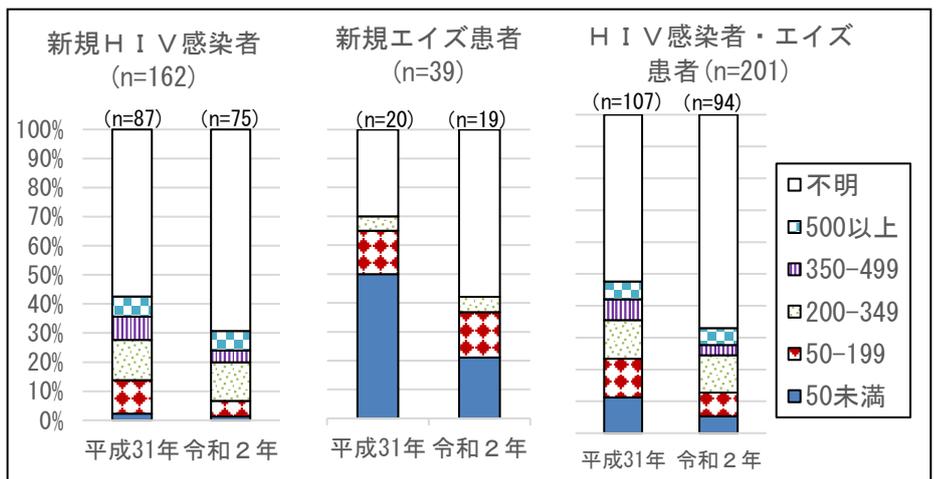
(5) 感染経路 (HIV・エイズ) <累計>



(6) 感染地域別 (HIV・エイズ) <累計>



(7) 新規報告における診断時CD4値の分布<平成31年・令和2年>
 ※平成31年1月1日から発生届に診断時のCD4値が追加された。



大阪市におけるエイズ対策（沿革）

年度	西 暦	検査、相談、普及啓発関係等	備 考
昭和57年度	1982		・ エイズ(AIDS)と命名
昭和60年度	1985		・ エイズの原因ウイルス発見(HIVと命名) ・ 日本で最初のエイズ患者認定
昭和61年度	1986	・ 24区各保健所でのHIV抗体検査・相談開始	・ エイズパニック(長野松本報道)
昭和62年度	1987		・ エイズパニック(神戸・高知報道)
昭和63年度	1988	・ 24区各保健所におけるHIV抗体検査匿名受付開始	・ 第1回世界エイズデー
平成元年度	1989		・ エイズ予防法施行
平成2年度	1990	・ エイズ予防週間事業(大阪府・他都市との共同事業)開始	
平成3年度	1991	・ 大阪府下の感染者・患者数の発表開始	
平成5年度	1993	・ 24区各保健所におけるHIV抗体検査無料・匿名受付開始 ・ 一般向け啓発冊子「エイズのはなし」発刊開始(平成26年度から「エイズ情報NOW」へ変更。大阪府・他都市との共同事業) ・ 新聞折り込み開始(～平成20年度) ・ 民間医療機関従事者への教育研修開始 ・ 個別施策層への予防啓発事業開始 ・ エイズ予防啓発ラジオ放送等事業開始	
平成6年度	1994	・ HIV夜間検査受検促進キャンペーン開始(～平成19年度) ・ HIV夜間検査受検促進キャンペーン用ポスター開始(～平成19年度) ・ テレホンサービス開始(～平成17年度) ・ 地域におけるエイズ普及啓発活動開始(～平成18年度) ・ トリオホンを活用した外国人への相談対応開始 ※1 ・ 神戸市、京都市との3市共同エイズ予防啓発事業開始(京都市:～平成15年度、神戸市:～平成17年度)	・ 第10回国際エイズ会議開催(横浜)
平成7年度	1995	・ 青少年向けエイズ情報誌「アジェンダ」発刊開始(～24年度)	
平成8年度	1996	・ 木曜日夜間常設HIV抗体検査開始(場所:西区。大阪府との共同事業) ・ エイズ専門相談事業開始 ※2 ・ 外国語によるエイズ電話相談事業開始	
平成11年度	1999		・ 感染症法施行・エイズ予防法の廃止 ・ 後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針の策定
平成13年度	2001	・ 24区各保健センターでのHIV抗体検査に性感染症検査(梅毒・クラミジア)を追加 ・ 思春期24時間電話情報提供(青春ほっとダイヤル)開始(～24年度)	
平成14年度	2002	・ 土曜日昼間常設HIV抗体検査開始(場所:北区。大阪府との共同事業)	
平成15年度	2003	・ 青少年に対する予防啓発事業「ヤング・シェアリング・プログラム」開始(～平成17年度)	
平成16年度	2004	・ 木曜日夜間常設及び土曜日昼間常設HIV抗体検査に性感染症(梅毒・クラミジア)を追加	
平成17年度	2005		・ 第7回アジア太平洋地域エイズ国際会議(神戸)
平成18年度	2006	・ 日曜日昼間常設即日HIV抗体検査開始(場所:中央区。大阪府との共同事業)	・ 後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針の改定 ・ HIV検査普及週間開始